

日本語版

# True Peace

Vol. 36

TRUE PARENTS' MESSAGE AND NEWS

天一國 11年

天曆 6月

2023年 陽曆 7月



## 巻頭言

真の父母様のみ言

## HJ NEWS

現場ニュース

平和世界の礎となる神統一韓国のビジョン

神様の国と神様の祖国

天地人真の父母様特別招請国家の復帰のための 3-4 地区公職者決意および派遣式 神様の祖国と天一国

天地人の真の父母様主管 神韓国指導者孝情特別修練会

宋龍天世界平和統一家庭連合 世界会長 世界巡回 (神ヨーロッパ)



# 新しい時代、パラダイムの意味

宋龍天 世界平和統一家庭連合世界会長



尊敬する神韓国指導者、そして祝福家庭の皆様、真の父母様は天苑宮天一聖殿勝利奉獻 (2023.5.7) 以後、天の父母様と真の父母様の主権が実体的に治める時代を迎え、新しい時代に、新しい組織と新しい出発をしなければならないと語られました。

そのような意味で、天正宮世界本部を世界平和統一家庭連合と韓国協会、総裁秘書室は1室と2室に分けて定立してくださいました。既存地区と大教区体制は廃止し、大教会体制に変えてくださいました。

このようなパラダイムを通じて、祝福家庭が持つべき時代認識は4つに整理することができます。

第一に、今の時代は実体に待る時代だという認識です。真の父母様は天苑宮天一聖殿奉獻式を通じて、天一国時代には「今や実体的に、無形の天の父母様が地上で真の父母と役事する時代を迎え、真の父母が一つ一つ教えなくても自ら体験しながら感じ、行動することができなければならない」と語られました。したがって、これから世界本部は神霊と真理で、天心苑と一つになって、天の父母様の創造理想を世の中に実現しなければなりません。

第二に、今の時は本質を追求する時代だという認識です。真の父母様は HJ クルーズ乗船式 (2023.5.18) で「創造主の本質は天の父母様であられる」と語られました。天一国を実体的に実現するために祝福家庭は、真の父母であられる天の父母様の真の愛、ために生きる生活を実践し、真なる個人・家庭・氏族・民族・国家・世界へとその範囲を拡大し、天の父母様の下人類一大家族の理想を実現しなければなりません。世界平和統一家庭連合傘下の UPF を含む全体組織は、天の父母様の下で人類が一大家族の目印となる平和の夢を実現するための、多様な教育と活動を通じて、天の父母様の夢である真の父母様の教え、真の父母様の生涯を証さなければなりません。

第三に、今の時は孝情を越えて忠節の時代だという認識です。真の父母様は 2013 年に天一国基元節を宣布され、天一国の実体的安着のためのビジョン 2020 を宣言されました。3 年間の侍慕精誠を通じて、天の父母様を中心とした孝情を人類の前に伝授して下さり、2023 年には天の摂理の完成、人類歴史の完成である天苑宮天一聖殿を勝利奉獻されることで、天の父母様と真の父母様を天上と地上に実体としてお迎えする時代を開いてくださいました。ついに人類が天の父母様に対する「孝」と愛を越え、忠節の表象として生きなければならない時代を宣布されたのです。私たちはこれ以上摂理を遅らせることのできない立場に立っています。

太初に天の父母様を中心とした一つの世界、戦争と葛藤のない平和な世界を築く道の礎は、一つになった基盤の上で南北統一と世界統一を成し遂げることにあります。

第四に、今のこの時は神霊と真理を通じて、伝道実績を報告しなければならない時代だという認識です。真の父母様は太初に天の父母様の夢、天の父母様の下人類一大家族の理想、分断なき神統一韓国と神統一世界建設を積極的に主導しておられます。真の父母様の「この国の 3000 万の民が天の父母様の子女にならなければならない。そうすれば南北は必ず統一される」と語られたみ言が実体的に根を下ろすためには、まず祝福家庭が一つになり、休眠食口と教会を離れた二世・三世を取り戻し、その環境圏を広げて、実質的な国家の復歸のための土台を作ることにあります。

天の父母様の摂理には決して中断はありません。天の父母様と真の父母様が直接治められる天一国時代に、天の父母様の夢を叶えるための召命は、一人のカリスマあふれる指導力より、家庭連合、祝福家庭全体に与えられた召命です。これからは私たち全体が一つになって、その役目を果たさなければなりません。

これ以上待つことの出来ない絶体絶命の時、祝福家庭と牧会者が一つになり、教会と機関が一つになり、家庭連合と UPF が一つになって、韓国 5000 万の復歸に向けて伝道し、国家の復歸、南北統一、その一つの目標に向かって前進、また前進していきましょう。

集団知性と効率的な組織の力で、天の父母様と真の父母様を実体的にお迎えし、この時代に任された使命を果たし、勝利的な報告を奉獻することのできる、天一国の孝子、忠臣になられることを祈ります。ありがとうございました。✍



## CONTENTS



### 巻頭言

- 02 新しい時代、パラダイムの意味  
宋龍天 世界平和統一家庭連合世界会長

### HJ NEWS

- 08 天地人の真の父母様主管  
神韓国指導者孝情特別修練会
- 12 天の父母様聖会  
世界平和統一家庭連合及び  
UPF 主要機関長就任式
- 14 母臨節 63 周年記念  
天地人真の父母様特別集会
- 16 天地人真の父母様特別招請  
国家の復歸のための  
1-2 地区公職者決意及び派遣式
- 18 天地人真の父母様特別招聘  
国家の復歸のための  
3-4 地区公職者決意および派遣式
- 20 真の父母様特別写真集
- 22 HJ モナ龍平 創立 50 周年記念式典
- 26 天地人真の父母様招聘  
天一國指導者特別集会
- 29 HJ クルーズ & マリーナ乗船式

### 真の父母様の名言

#### 04 神様の国と神様の祖国

天一國經典天聖經 第 12 編 天一國  
第 1 章 神様の祖国と天一國

#### 06 神様の祖国と天一國

天地人真の父母様特別招請国家の復歸の  
ための 3-4 地区公職者決意および派遣式

### 現場ニュース

- 30 宋龍天世界平和統一家庭連合  
世界会長 世界巡回  
(神ヨーロッパ)
- 34 「天の父母様聖会  
第 61 回真の万物の日敬礼式」
- 35 天苑宮天勝教会共同堂会長就任式  
および世界平和統一家庭連合創立  
69 周年記念礼拝
- 37 神アメリカ大陸会長 離就任式
- 38 南楊州大教会昇格および  
龍鄭植大教会会長就任礼拝
- 39 ピースロード 2023 統一大長征
- 42 江原道旌善ハンゴル溪谷  
コンテンツ開発のための学術大会





## 神様の国と神様の祖国

天一国經典天聖經 第12編 天一国 第1章 神様の祖国と天一国

新しく迎えた新千年は、六千年間の救援摂理が完成し、創造理想を中心とした本然の天の国が建設される時です。旧約と新約の約束が成し遂げられる成約の時代だということです。二度と涙がなく、死亡がなく、哀痛する声が聞かれない新しい天と新しい地を意味します。水晶のように透き通った生命水を代価なく分かち合う、条件のない真の愛の時代のことを意味するのです。霊界と地上が一つに通じ、天上と地上に神様の国が成し遂げられる時代です。生きていらっしゃる神様の直接主管と、

復歸された長子権、父母権、王権を通して、全体、全般、全権、全能の新しい時代が開かれる時なのです。

地球星は、人類の故郷であり、霊界は、人類が完成して到達すべき永遠の祖国を意味します。「唯一なる神様のもとにおける一つの国」を越え、「唯一なる神様のもとにおける一つの天宙」として、天の父母を中心とした地球星大家族主義世界が成し遂げられる時です。したがって、私たちは、神様と人間の根本的関係である父子の関係

を心に刻み、天宙、すなわち霊界と地上を私たちの故郷と祖国として創建するために、積極的に先頭に立たなければなりません。

イエス様も、真の神様の祖国を創建するために来られたのであり、預言者や烈士たちも、その祖国建設の役軍（担い手）でした。天国を創建するために、天地が公認する男性と女性が家庭をつくり、子女を繁殖して、氏族、民族、国家を成し遂げなければなりません。カインとアベルを基準として蕩滅し、接





ぎ木して、この世界を神様が主管する祖国として創建しなければなりません。預言者や烈士たちがこれを願ってきたのですが、希望する個人、家庭、氏族、民族、国家、世界へとつながる地上天国を建設できなかったのも、私たちは、これまで歩んでいた道を捨てて、この道を行かなければなりません。

永遠の神様の国は、一つの目的を中心として、一つの方向にのみ進むので、光り輝く姿で、明朗な姿で、力強く広がっていかねばなりません。いくらここが黒雲のようなもので塞がっていたとしても、それを貫いていかねばなりません。世の中の光は、雲に遮られれば影が生じますが、天の国の光は、その雲も突き抜けていくのです。その光と熱をもってそこに行けば、すべてのものが熱によって熱くなり、燃えてしまうのと同様に、なくなってしまうのです。

今日、天のために進む人たちは、サタン世界に派遣された密使です。個々人において、大小、広狭、高低の違いがあるかもしれませんが、各自が置かれている生活自体は、密使の生活を離れてはいけません。ここには、いつでも生死を分ける脅威が介在しているのです。ややもすれば、永遠の生命問題が左右される立場に置かれるのです。ですから、永遠の生命を支えることができ、永遠の生命を保護してあげられる私たちの祖国を探し出そうという観念が、その環境より何百倍も強くなければ、密使の生活はできません。

その祖国の栄光を見つめる心をもって祖国の恨を解いたときに、すべての万民が喜ぶということを思い、新しい歴史を創建して祖国光復の一日を迎えるそのときに、自らの功労が明らかになることを思いながら、現在の立場を無視できなければなりません。そのような心が先立たなければ、密使の使命

を遂行できないというのです。言い換えれば、祖国光復のための願いが現実の願いより千倍、万倍も強い心になってこそ、きょうの生命と取り替えることがあったとしても、それを克服して密使の使命を遂行できるのです。

第二の祖国光復のために三十八度線を打破し、万民の前に誇れるアジアの新しい結実として現れなければなりません。韓民族の歴史的な惨事を踏み締め、新しい文化を創建すべき使命が私たちにあることを知り、弱き手を互いにつなぎ、弱き体を動かして、天に向かって両手を挙げて誓わねばなりません。今が正にその瞬間であることを知り、皆さんは自重する心で、あすを準備しなければなりません。国家を愛さなければならず、世界を愛さなければならぬので、環境を開拓しなければなりません。ㄸ



## 神様の祖国と天一国

天地人真の父母様特別招請国家の復歸のための 3・4 地区公職者決意および派遣式  
天一国 11 年天曆 4 月 10 日 (2023.5.29) 麗水ジ・オーシャン

創造主であられる天の父母様は、ご自身の形状にかたどって天地万物を創造され、人間の始祖となりうる男性と女性を創造され、人間には成長期間を与えられ、完成のひと日を待って来られました。

人間には取って食ってはならないという戒めをくださいました。しかし、人間の始祖となるべき男性と女性はその戒めを守ることができず、エデンから追い出されました。

創造主とは関係のない墮落した世界が今日の世界です。6000 年という長

い年月を経ながら、一瞬たりとも平和な世界を夢見ることができませんでした。創造主は戦争と葛藤、病気、予期せぬ苦痛に耐えざるを得なかった人類の歴史を眺められる、その心情はいかばかりであられたでしょうか？

天の父母様は全知全能であられます。始まりと終わりが同じお方です。始められたので必ず成し遂げなければなりません。そのため、創造主はつらい蕩滅復歸救援摂理の歴史を行わざるを得ませんでした。

多くの人類の中で、イスラエル選民

を選ばれ、救援摂理歴史をされる理由は、本来、天が夢見られた、天が直接対することのできる血統を復歸するためでした。そして多くの時間を経て、アブラハム、イサク、ヤコブを通じて、天が対することのできる血統を探し出されました。それから個人、氏族、民族、国家形態に進むことができる時、すなわち 4000 年という時間を経て、「私の息子だ」と言うことのできる、独り子イエス・キリストを送ってくださいました。

いざメシヤを送ってくださいました





が、彼を誕生させたマリア、ザカリヤ家庭、ユダヤ教、イスラエル民族はイエス様の価値を理解ことはできませんでした。結局、彼らによってイエスは十字架で亡くなられるしかありませんでした。十字架で亡くなられながら、再び来ると言われました。

天は始められたので、必ず成し遂げなければなりませんでした。墮落した世界、墮落とは関係のない、天が誕生させるべき独り娘を誕生させるために、天は多くの準備をして来られました。そして独り娘を誕生させるための国を選ぶ際に、天は韓民族を選び、育てて来られました。

ついに 1943 年、独り娘が誕生しました。摂理的に 400 年ぶりの出来事です。しかし、第二次世界大戦が終結したことで、韓国は南と北に、民主と共産に分かれました。

イエス様の願いは何ですか？ 天の父母様の夢を叶えて差し上げることが

できる、天が待っていた真の父母の立場です。真の父母の位置。言い換えれば、再臨メシヤの使命は、天が選んだ独り娘に出会うことです。

天が私を独り娘として誕生させ、祝福した以上、「必ず私の当代に、天の父母様の夢を成就する」と誓いました。

これ以上天は待たれることは出来ないで、私に基元節を開くように言われ、天一国を宣布するようにされました。宣布だけでなく、人類に示す必要があるため、7 カ国と 7 つの教団、大陸を復歸したという条件を立て、天一国安着を宣布しなければなりませんでした。そのような基台の上で、天の父母様をお迎えすることができる、天苑宮天一聖殿を奉献しました。

創造主、天の父母様の本質、願い、夢を語り、叶えて差し上げる御方は、ただ真の父母様のみです。

6000 年の人類歴史において、天の父母様はどれほど苦しまれ、心痛めら

れ、待って、耐え忍んで来られたのかを知らなければなりません。

ただ愛で人類を抱こうとされる、父母様の心情の前に、天の父母様の前に、真の父母様の前に皆さんは悔い改め、再び生まれ変わらなければなりません。祝福家庭としての手本を示さなければなりません。そのためには伝道です。国家の復歸を成せなかった立場で、どうして天の父母様の祖国だと言うことが出来ますか？ 神統一韓国に進むためには、これ以上待つことは出来ません。真の父母、独り娘が地上にいる間に解決されるべき最も緊急問題の一つであることを肝に銘じてください。

皆さんが天の父母様を思う存分誇り、真の父母様を思う存分誇る孝子、孝女、忠臣となることを祝願致します。」

# 天地人の真の父母様主管 神韓国指導者孝情特別修練会

天地人真の父母様主管神韓国指導者孝情特別修練会（以下孝情特別修練会）が天一国 11 年天曆 4 月 20 日から 23 日（陽 6.8~11）まで、HJ 天宙天寶修練苑で神韓国大教会長、牧会者夫婦、大教会公職者、天寶家庭教会長、摂理機関公職者など 700 人余りが参加する中で開催された。

「神霊と真理で伝道勝利！神統一韓国国家の復帰勝利！」をテーマにした今回の孝情特別修練会は天地人真の父母様主管特別集会をはじめ、就任式、天寶賛美役事、天心苑特別祈祷会、天苑宮天一聖殿巡礼、神韓国伝道出征礼拝など主要プログラムが行われ、牧会者夫婦は国家の復帰勝利に死活をかけることを固く決意する場として設けられた。

## 神韓国指導者孝情特別修練会、初日

### 天の父母様聖会家庭連合・UPF 主要機関長就任式

孝情特別修練会初日の公式行事として、「天の父母様聖会家庭連合・UPF 主要機関長就任式」が天一国 11 年 4 月 20 日（陽 6 月 8 日）、HJ 天宙天寶修練苑大聖殿で行われた。

同日の就任式は、イ・ギシク 神韓国副協会長の司会で開会宣言、報告祈祷（李基誠天心苑長）、激励の挨拶（文妍娥 ムン・ヨナ 第 1 秘書室長、鄭元周 チョン・ウォンジュ 第 2 秘書室長）、就任の挨拶（宋龍天家庭連合世界会長、梁昌植 UPF 世界議長、宋光爽神韓国協会長）、億万歳（朴魯熙 神統一韓国国民連合元老会長）、閉会の順で行われた。

報告祈祷を通じて李基誠天心苑長は、常に真の父母様を証する私たちとなり、新しく立てられた中心人物と一つになってビジョン 2025 勝利のために出発する基台が、天の父母様をお迎えして行われることを切に願った。

激励の挨拶を行った文妍娥第 1 秘書室長と鄭元周第 2 秘書室長は、天地人真の父母様の精誠と愛の中で就任する宋龍天世界会長と梁昌植 UPF 世界議長、宋光爽神韓国協会長の就任を祝い、孝情特別修練会が喜びで始まるよう祝福して下さった真のお母様に深い感謝を捧げた。

宋龍天家庭連合世界会長と梁昌植 UPF 世界議長、宋光爽神韓国協会長は、2025 年までに国家の復帰の基台を必ず立てなければならないという切実な真のお母様の天命を受け、今後牧会者と食口が一つになる中で、真のお母様を絶対的な中心に迎え、実体的な成果を出す、新たなパラダイムに見合う新しい指導者になることを誓った。

その後、李基誠苑長の天心苑特別講義と孝情特別修練会の公式日程として、HJ 天宙天寶修練苑天寶賛美役事と神統一韓国のための天心苑特別徹夜精誠が、天心苑で恩恵の中で行われた。





## 神韓国指導者孝情特別修練会、2日目

### 天地人の真の父母様主管 神韓国指導者特別集会

孝情特別修練会 2 日目 (陽 6.9) は、独り娘、実体聖霊であられる真のお母様を迎え、「天地人真の父母様主管神韓国指導者特別集会」が行われた。

同日の行事は、「真の父母様のみ言」の映像視聴、賛美、真の父母様のみ言、戦略報告 (世界本部・UPF・神韓国本部)、「伝道戦略樹立 1」、「特別徹夜精誠」、「天寶賛美役事」の順で行われた。

真のお母様はこの日のみ言に先立ち、「天一国の主人であられる天の父母様をお迎えすることができる聖殿を奉獻したこの時、どのようにすればいいですか?」と問われた後、「この国の主人は天の父母様であられ、天の父母様を知らせ、祝福する真の父母が主人であることを知らなければならない。」と、明確に摂理的方向を指摘してくださった。また、真のお母様は「今回だけは私が皆さんを信じ、皆さんがしようとすることに私が積極的に 120% 応援します」と激励してくださった。



その後、摂理機関別戦略報告が行われた。宋龍天家庭連合世界会長は、「真のお母様をお迎えする人生の黄金期に、侍る、本質、忠節、実績」等、4つの時代認識を提示し、集団知性と経済的透明性、効率的組織力を基盤とした世界本部の運営を通じて、実質的伝道報告による実体的国家の復帰への段階的アプローチと組織の役割分担による神統一韓国の完遂を必ず勝利することを決意した。

梁昌植 UPF 世界議長は、真の父母様が磨いて来られた世界的基盤を韓半島に結集させて、対外環境を構築し、100万統一国民準備委員会の拡大を通じて「韓国の1/2でも復帰しなさい」という真のお母様の切実なみ言を成就することを決意した。

続いて、新たに改編された UPF 傘下の組織紹介と持続可能な世界平和の実現と、韓半島統一のビジョン実現に向けた戦略樹立が進められた。

宋光奭神韓国協会長は、「真のお母様が明らかにされた、国家の復帰勝利のための戦略」として、△神霊と真理を通じた総力戦図△国家の復帰に向けた全摂理機関の結集、△家庭連合およびすべての機関伝道投入、△南北統一に向けた統一準備国民委員組織等、4つの核心キーワードを発表した。宋光奭協会長は、「今後6カ月間、協会を中心に非常体制に入ること伝え、すべての公職者、食口が一丸となって伝道に総力を尽くそう」と述べた。また、30~40代の休眠青年家庭の教会安着、原理教育の強化、温かい食口共同体回復などの細部戦略も共有した。

### 神韓国指導者孝情特別修練会、3日目

孝情特別修練会3日目は、真の父母様の統一運動に対する、宋光奭神韓国協会長の特別講義から開会式が始まった。宋光奭協会長は「南と北が共に生きる統一の道」をテーマに、南北統一の夢を実現するために深い精誠の中で摂理を経綸しておられる、真の父母様の偉大な生涯と業績を土台に感動的な特別講義を伝えた。さらに宋光奭協会長は、「真の父母様と孝進様が精誠をこめて築いて来られた統一基盤の内容と、来る韓半島平和統一を実現するための具体的な方案が、家庭連合や UPF など、全摂理機関が一つになって準備していかなければならない」と力説した。





統一運動の特別講義の後、神韓国協会の中央講師たちの模範講義が行われた。爆発的な教会成長と天一国の民養育のための伝道教育の重要性が、いつにも増して核心事項として浮上しているため、神韓国協会は今回の修練会を契機に、全国の牧会者たちに模範講義を提示した。この日、協会の中央講師たちは主題別、対象別にオーダーメイド型コンテンツおよび講義が提示されなければならないことを強調した。これに基づき、チョ・ソンス講師の統一運動、チョ・ユクヒョン講師のVIP 原理講義、イ・スンイル講師の創造原理を中心とした原理講義についての模範講義が行われた。

その後、参加者たちは天の父母様に向けた真のお母様の深い愛と精誠が込められた天苑宮天一聖殿巡礼、今後の決意文を作成し、日程を締めくくった。

### 神韓国指導者 孝情特別修練会、4日目

孝情特別修練会4日目の行事が、「ビジョン 2025 神統一韓国国家の復帰勝利のための神韓国伝道出征礼拝」(以下出征礼拝)として熱く行われた。この日の出征礼拝は神韓国の全国の教会を、インターネットで連結し、生放送で行われた。

出征礼拝は金東宴(キム・ドンヨン)神韓国副協会長の司会で、真の父母様のみ言映像視聴、孝情黙想、敬礼、家庭盟誓、報告祈祷、孝情賛美、宋龍天家庭連合世界会長の激励の挨拶、梁昌植 UPF 世界議長の祝辞、YSP 特別公演、宋光奭神韓国協会長のみ言および祝辞、統一の歌、孝情祈祷の順で行われた。

出征礼拝後、神韓国指導者と牧会者夫婦は、天心苑で新しい出発をするために、天の父母様と天地人真の父母様の天運を相続するために、敬礼の精誠を捧げた。そして、真のお母様が明らかにされた、国家の復帰、ビジョン 2025 勝利のために、現場で伝道倍加が成し遂げられるよう、熱い聖霊の火、愛の火、伝道の火が燃え上がるように懇願し、溢れる希望と恩恵を持って、現場へと出発した。🔥



# 天の父母様聖会 世界平和統一家庭連合及び UPF主要機関長就任式

## 激励の挨拶

文妍娥 (ムン・ヨナ)  
総裁秘書室第1室 秘書室長



尊敬する神韓国家家庭連合、UPF、そして主要摂理機関の指導者の皆様、そして本日オンラインで共にご参加の全世界の指導者の皆様、こんにちは、お会いできて嬉しいです。

真のお母様は天苑宮天一聖殿の奉獻式以後、組織を改編して下さり、「今まで進めてきた多くの内容について、2025年までに新しく、真実で目に見える実績を持って、天の前に立たなければならない」というみ言を語られました。

そうした中で世界平和統一家庭連合に宋龍天世界会長を、UPFに梁昌植世界議長を、神韓国家家庭連合に宋光奘協会長を立てられ、新たに出発できる恩賜をくださいました。

最近、真のお母様は、「私たちが、先に何かをさし出し、犠牲になり、降ろすならば、それが天の前に条件となり、天は私たちのためにさらに多くのことを準備してくださるだろう。より大きな恩賜として私たちを導いてくださるだろう。そして天が準備してくださった義人に会わせてくださるだろう」と語られました。また、過去、真のお父様は、「何か事を控えて、出来る、出来ないと心配せず、したか、していないかを心配しなければならない」というみ言を語られました。

新しい組織改編を通じて、新しいミッションを受けたこの時、私たちは皆、ある事を控えて、本当にこれが出来るか否かを個人的な考えで悩まずに、天を中心として、真のお母様の心情を中心として、天心苑を中心に互いに力を合わせて出発するならば、2025年天の父母様、真の父母様が切に願われる国家の復帰、そして世界復帰の道が開かれると私は確信します。私たち皆が新しい出発をするこの時間、さらに成長し、発展できることを願っています。ありがとうございます。

## 激励の挨拶

鄭元周 (チョン・ウォンジュ)  
総裁秘書室第2室 秘書室長



尊敬し愛する神韓国家家庭連合、UPF、そして主要摂理機関の指導者の皆様、そしてオンラインでこの行事に参加されている全世界の指導者の皆様、そして食口の皆様、お会いできて大変嬉しいです。

真のお母様は聖誕80周年記念および傘寿宴行事と天苑宮天一聖殿の奉獻を勝利され、新しい出発のための組織改編を断行されました。

真のお母様が神統一韓国、ひいては神統一世界のために、毎日のように朝会を主管され、新しい出発のための摂理を進められています。そうした中、新たな出発のために総裁秘書室を強化され、文妍娥 第1秘書室長と鄭元周 第2秘書室長を立ててくださいました。そして第1、2秘書室は政府の内務省と外務省と同じ機能を果たすべきだと語られました。また、未来人材養成のために孝情文和苑には文薫淑(ムン・フンスク)団長を立てられ、天一国時代の文化を開発し、未来人材の養成のための教育を進めていくことを命じられました。さらに、真のお母様は世界平和統一家庭連合の宋龍天世界会長、UPFの梁昌植世界議長、そして世界平和統一家庭連合の宋光奘韓国協会長を新たに立ててくださいました。愛する天一国の指導者の皆様、早いテンポで進む摂理に歩調を合わせて、最善を尽くしてくださる皆様に、私は心より感謝申し上げます。

新しい時代、新しい歴史、摂理の祖国、天の父母様の祖国として立つべき韓国を中心とした国家の復帰のために、心をついに、目的をついに、新しいパラダイムへと進むべきこの時点で、私たち皆が必ず神霊と真理で伝道に勝利し、神統一韓国の国家の復帰に勝利する、真の孝子、孝女の道を歩む指導者になることを願います。ありがとうございます。



## 就任の挨拶

### 梁昌植 (ヤン・チャンシク) UPF 世界議長



まず、本日この場に立つように命じられた天の父母様と天地人真の父母様に深い感謝と敬意を表します。

真のお母様は天地人真の父母聖誕80周年の祝勝会以後、多様な経験と実績のノウハウを備えている私と、

宋龍天会長をお呼びになられ、宋光奭会長と共に、皆さんと共に南北統一の聖業を達成せよという天命をくださいました。

イエス様の12使徒の一人であるペテロは、本来魚を捕まえる漁師でした。彼は秀でていたから12使徒になったわけではありません。主が呼ばれた時に船と網を捨てて、何も言わずに乗り出たからです。使徒はイエスと同時代に生きてきた者として、イエスの復活を経験し、その証人になることの出来る人のことです。今日私たちは皆、真の父母様が直接治められる時代に召命され、祝福され、ミッションを遂行する天一国の使徒です。

愛する指導者の皆様！統一は我が教団が創設された時からその名にあるほど、我が運動の核心であり、我が祖国の運命であり、カイン・アベルの葛藤の世界的決算であり、ひいては天の摂理の完結です。愛する兄弟姉妹の皆様、真の父母様に侍り、ビジョン2025まで、死生決断、全力投球する天一国の勇士たちとなられることを願います。ありがとうございます。

## 就任の挨拶

### 宋光奭 (ソン・グァンソク) 世界平和統一家庭連合 神韓国協会長



こんにちは。神韓国協会長として命を受けた宋光奭と申します。真のお母様は、天曆3月18日、陽曆5月7日、至極精誠の基台の上に、天の父母様をお迎えする、天苑宮天一聖殿を奉献されて以来、主要指導者たち

を天正宮博物館にお呼びになられました。

真のお母様は「天苑宮に天の父母様をお迎えする入宮式を挙行するためには、少なくとも国家的基盤が天の父母様の影響圏内になければならない。」とみ言をくださり、組織改編を断行されました。

そうした中、家庭連合に宋龍天世界会長を、UPFに梁昌植世界議長を立てられ、梁昌植会長は、わたくし宋光奭とともに韓国の国家の復帰、南北統一を行うべきだという、天命をくださいました。

真のお母様は「天一聖殿が奉献されたが、天の父母様が思い通りに運行されることのできる環境圏になるためには、この国の5000万の民が天の父母様の子女になるためには、真の父母様から祝福を受け、天一国の民として入籍しなければならない」と語られました。

尊敬する牧会者と公職者の皆様！これから私たちのミッションは一生を捧げ、南北統一の礎を築き、世界平和の道を開いてくださった真の父母様の業績を全国民に知らせ、証しすることです。神韓国協会は、真の父母様の天命に従い、今後6か月間、食口の倍加とともに南北統一を主導できる統一運動の基盤を準備していくとともに、天一聖殿の入宮式が行われる2025年までに、天一国の民を倍加することで、天一聖殿への入宮式を、勝利的基台の上にお迎えすることのできる活動に全力を尽くします。草創期の精神に戻り、皆が靴紐をしっかりと結び、国家の復帰と南北統一の天命を果たすことに共に同参してください。ありがとうございます。🔗

# 母臨節 63 周年記念 天地人真の父母様特別集会

母臨節 63 周年記念天地人真の父母様特別集会が、天一国 11 年天曆 4 月 4 日（陽 5.23）釜山家庭教会大聖殿で宋龍天（ソン・ヨンチョン）世界平和統一家庭連合世界会長、宋光奭（ソン・グァンソク）神韓国家庭連合協会長、李基誠（イ・ギソン）天心苑長、家庭連合指導者および摂理機関長、釜山大教会公職者と中心食口約 500 人がその場をいっぱい埋めた中で、イ・ギシク神韓国家庭連合副協会長の司会で行われた。

## 真の父母様のみ言

真のお母様はこの日のみ言を通じて「本来創造主は天地万物を創造され、人間の始祖となることのできる男性と女性を創造され完成した場に、人類の真の父母になろうとされた。しかし、人間始祖は完成することができず墮落し、創造主と関係のない墮落した人間、墮落した世界を成してきた。天は今も昔もご自身の事情を知り、人類を抱くことのできる環境圏を作ることの出来る真の父母が誕生するのを待って来られた。」と語られた後、イスラエル民族を中心としたイエスの誕生とキリスト教の歴史から、韓民族を通じた独り娘の誕生、1960 年に真の父母の誕生、そして祝福の歴史と摂理歴史について説明された。続いて「創造の原則は、2000 年前に天が墮落した人類の中で独り子を誕生させ、6000 年ぶりにキリスト教環境圏に独り娘を誕生させ、その独り娘が成長して天の摂理を崇めることができるその日を待ちながら、キリスト教の環境圏を広げていくことに全力投球しなければな





らなかった」と語られた。また「今は真の父母によって新しい時代、新しい摂理歴史が宣布された。基元節、天一国が宣布され、天一国が安着するようになった。それまでには少なくとも7つの教団、7カ国、大陸を復歸したという、大陸を祝福したという条件、結果を立てた場でのみ可能だった」と強調された。最後に、真のお母様は「私が10年前から天苑宮天一聖殿を建てると言った。ですから博物館の形で始めると言った。永久的な創造主、天の父母様がどのように墮落した人類を救うために、どんな摂理歴史をされたのかを6000年の天の摂理歴史をひと目で見て学ぶことが出来るように、最高の名匠たちによって最高の作品を作った」と語られ、「それですべきことがたくさんある。この国の民が天の父母様をお迎えして暮らす選民としての責任を全うする場合は、皆さんが後代の子孫の前に、誇らしいこの時代を生きた私たちの先祖、父母であったと言うことの出来る皆さんにならないといけない」と祝願された。

同日の行事はオープニング公演、開会宣言、報告祈祷(李基誠天心苑長)、挨拶(宋龍天世界会長、宋光奭韓国協会会長)、花束捧呈、ケーキカット、真の父母様のみ言、孝情の証、孝情公演、億万歳、閉会の順で行われた。

李基誠 天心苑長は報告祈祷を通じて、真のお母様と一つになって大復興の時代を作っていこうと懇願し、宋龍天家庭連合世界会長は挨拶を通じて、「私たちの目標は明らかです。明確です。国家の復歸です。この目標を完成させる方法も明確です。伝道です。そのために休んでいる食口を探し回り、教会に背を向けていた2世・3世を取り戻し実質的な教会成長を成し遂げながら、全国民に真の父母様を伝える伝道活動に総力を傾けなければなりません。真のお母様と一つになって、私たち皆が共にすれば、必ず勝利できます」と明らかにした。

さらに、宋光奭 神韓国協会会長は「韓国協会は来るべき南北統一時代を準備していきます。今、私たちは後退する場所がありません。年末までに必ず高地を奪還しなければなりません。ビジョン2027勝利と国家の復歸の責任を全うし、第60回天の父母様の日、神統一国家、神統一世界安着を成し遂げるために、皆が取り組んでくださることを信じています」と伝えた。

その後、孝情の決意をこめた、文化公演と孝情の証、決意文の提唱が行われ、行事は、世界指導者の国家の復歸の勝利決意をこめた、億万歳三唱を最後に幕を閉じた。

母臨節は、真のお母様が、2021年5月23日に、特別に釜山を訪問され、祝福してくださったことを記念し、その年の神韓国第5地区神慶尚国釜山移転感謝礼拝(陽7.18)の際に記念日として発表された。これで母臨節は、真のお父様韓国戦争興南監獄避難後、1951年1月27日、釜山草梁(チョリャン)駅に到着された日を記念する父臨節と共に釜山教会の記念日となった。☞



## 天地人真の父母様特別招請 国家の復歸のための 1・2 地区公職者決意及び派遣式

天地人真の父母様特別招請 国家の復歸のための 1・2 地区公職者決意および派遣式が、天一国 11 年天曆 4 月 13 日（陽 6.1）、天正宮博物館宴会室で宋龍天世界平和統一家庭連合世界会長、梁昌植 UPF 世界議長、宋光爽神韓国家家庭連合協会長、文妍娥第 1 秘書室長、鄭元周第 2 秘書室長、李基誠天心苑長をはじめ、1・2 地区の公職者と YSP 青年教会長が参加した中で行われた。

平真のお母様はこの日、み言を通じて「天の父母様の夢を地上に叶え、表さなければならない摂理を置いて、天の父母様の前に、独り娘、真の母として、地上の子女たちと共に、天の父母様にお見せしたかったけれど、環境圏を広げて、心安らかにお迎えするできることを願いましたが、天苑宮天一聖殿は奉献したけれど、真の父母が望んでいた、天の父母様が運行なされるべき祖国の現実、大変残念なものでした。」と前置きされた後、「結論はたった一つです。天の前に顔を上げられるのは伝道です。」と強調された。さらに真のお母様は、「祝福家庭として、この時代を生きている現実から見て、私が地上にいる間、私がいる間が重要です。なぜなら、天の父母様が共にする黄金期であるからです。今までの皆さんの態度ではいけません。決死の覚悟で、24 時間、目を覚まして行動しなければなりません。」と語られ、「これからは天苑宮を奉献し、勝利的な入宮式を奉献すべき、2025 年、国家の復歸を果たしたという、勝利的報告を天の前にできるように、決死の覚悟でやり遂げなければなりません。最後に皆さんが天の前に孝子・孝女・忠臣の道理をすべて果たす期間であることを知らなければなりません。」と強調された。







この日の行事は 1・2 部に分かれて進行され、1 部は宋光奭神韓国家庭連合協会長の司会により、開会宣言、花束奉呈、礼物奉呈、鄭元周第 2 秘書室長の訓読、真のお母様のみ言、報告祈祷、孝情文化公演および決意報告（1・2 地区公職者、YSP 青年教会長）、億万歳三唱に続き、2 部は勝利提議、午餐、孝情の証、記念撮影、閉会宣言などで進行された。

真のお母様が登壇された後、1・2 地区を代表し、朱鎭台（チュ・ジンテ）神韓国共同会長と皇甫国（ファンボ・グク）神韓国共同会長が真のお母様に花束を捧呈し、神韓国 5 つの地区の共同会長が礼物を捧呈した。

続いて鄭元周第 2 秘書室長は訓読を通じて、3・4 地区の公職者決意および派遣式で真のお母様が語られたみ言を代読した。

イ・ギシク神韓国副協会長は報告祈祷を通じて、「血は天のために、涙は地のために、生涯を耐え忍んでこれ、口の中がただれ、手足が腫れて、目を開けることができず、肉体に無理がかかる道をお一人で歩いて来られた、真のお母様の、天の父母様に対する切実な心情が、この時間、相続されることを切に願っています。」と強調し、神韓国 1・2 地区公職者および YSP 青年教会長は、真のお母様に、孝情文化公演を通じて、新たな出発への勝利を誓いながら、摂理の歩みに死生決断、全力投球することを決意した。

2 部の午餐会に先立ち、金東宴（キム・ドンヨン）神韓国副協会長の勝利提議が行われ、午餐会後、全体を代表して 1・2 地区の神韓国共同会長および青年教会長と YSP 青年公職者が、孝情の報告を通じて真のお母様に感謝と決意を捧げる時間を持った。

最後に参加者全体は「私たちの願いは統一」を皆で合唱し、神統一韓国勝利に向けた思いを一つに集めた。

真のお母様は、神韓国 1・2 地区の公職者たちに、激励と愛を注がれ、勝利の気運を高めてくださる中、行事は盛況の内に幕を閉じた。🎌

## 天地人真の父母様特別招聘 国家の復帰のための 3・4 地区公職者決意および派遣式

真の父母様は聖誕 80 周年・天苑宮天一聖殿勝利奉獻の基台の上に新しい摂理を経綫され、伝道を通じた国家の復帰の総進軍を命じられた。そして陽暦 5 月 23 日、母臨節 63 周年を迎え家庭連合の食口に天運を相續してくださった。その後、真のお母様は海洋摂理の中心である麗水を訪問され、釣り精誠の基盤の上に天地人真の父母様特別招聘国家の復帰のための 3・4 地区公職者決意および派遣式を天一国 11 年天曆 4 月 9 日～10 日（陽暦 5 月 28 日～29 日）の両日にかけて麗水ジ・オーシャンリゾートで挙行された。

この日の行事には文妍娥（ムン・ヨナ）総裁秘書室第 1 秘書室長、鄭元周（チョン・ウォンジュ）第 2 秘書室長、宋龍天（ソン・ヨンチョン）世界平和統一家庭連合世界会長、梁昌植（ヤン・チャンシク）UPF 世界会長、宋光奭（ソン・グァンソク）家庭連合神韓国協会会長が参加し、李基誠（イ・ギソン）天心苑長をはじめとする天一国指導者、3・4 地区公職者、YSP 青年教会長が参加する中で行われた。

初日の行事は、宋光奭神韓国協会会長の司会で晩餐と共に開会宣言、礼物および花束奉呈（俞慶得（ユ・ギョンドク）3 地区会長夫妻、李相宰（イ・サンジェ）4 地区会長夫妻、チョン・ウチョル海洋・済州大教区長夫妻、チョ・ユクヒョン副会長、イ・ドンハ大教区長）、真の父母様のみ言、特別文化公演、閉会の順で行われた。

真のお母様は登壇されると、み言を通してイエス様の使命と真の父母の使命に対する摂理歴史を説明された。そして「天の父母様の夢、イエス様の夢は、地上で真の父母を通して墮落した人類を抱いて生きていくことだったので、統一教会、家庭連合は、強く自信を持って恐れずに進まなければなりません。」と強調された。







2日目の行事は、宋光奭神韓国協会長の司会で映像視聴（母臨節）、YSP 青年教会長の賛美、真の父母様のみ言、孝情文化公演、決意文斉唱（愈慶得神韓国 3 地区共同会長、李相宰神韓国 4 地区共同会長、ヤン・グォンイル YSP3 地区会長、チョン・グクジン YSP4 地区会長）、記念撮影、億万歳三唱、閉会の順で行われた。

真の父母様はこの日のみ言を通して、創造主天の父母様、解放してさしあげなければならない天の父母様、真の父母、独り娘の顕現、真の父母の道、天一国宣布、真の子女の道、人類が進むべき道について説明された。

続いて真のお母様は「6 千年の人類歴史において天の父母様が待たれているのは、天の父母様の前に、真の父母様の前に皆が祝福家庭として手本を示し、とにかく天の父母様の祖国、国家の復帰です。神統一韓国へ向かう道は、これ以上待つことのできないものであり、真の父母、独り娘が地上にいる間に解決しなければなりません。」と強調された。さらに真のお母様は「もう皆さんは私と一つです。私たちは天の父母様を思う存分誇り、真の父母様を思う存分誇る孝子、孝女、忠臣にならなければなりません。」と祝福された。

宋光奭協会長は「ひたすら国の独立のために、死をも顧みなかった安重根（アン・ジュンゲン）義士の心情で、祖国独立という大きな志を成すまでは帰ってこないと言った尹奉吉（ユン・ボンギル）義士の固い覚悟と、殉国烈士たちの覚悟と決意に似て、天の父母様の祖国、神統一国家に向けて、34 地区はもちろん、家庭連合全体が一丸となってこの時間決意を固めよう。」と伝えた。

参加者たちは天の父母様と天地人真の父母様の夢である国家の復帰の足場となる伝道の実質的な実績を必ず勝利的に成し遂げるという決意を固め、全体の誓いを込めて億万歳三唱で全体の日程を終えた。🎌



# 真の父母様特別写真集









# HJ モナ龍平 創立 50 周年記念式典

(株)HJ マグノリア龍平ホテルアンドリゾート(以下、HJ モナ龍平)が創立 50 周年を迎え、天・国 11 年 天曆 4 月 24 日(陽 6.12)、HJ モナ龍平ウェルネスホールで記念式を開催した。

HJ モナ龍平の「モナ (MONA)」は大自然を意味する英語「Mother Nature」の頭文字で作った単語で、「皆と私の幸福価値実現」という企業理念が込められている。

同日の記念式には、世界平和統一家庭連合の摂理機関長および企業体代表、沈在国(シム・ジェグク)平昌郡主、シム・ヒョンジョン平昌郡議会議員、パク・ジノ江原日報社長、イ・ボムヨン江原道保健体育特別補佐官など、250 人余りの内外貴賓および関係者が出席し、金鎮台(キム・ジンテ)江原特別自治道知事や権性東(クォン・ソンドン)国会議員、劉相凡(ユ・サンボム)国会議員が映像で祝賀の挨拶を伝えた。

「モナ龍平の夢、胸躍る未来 100 年」をテーマに開かれたこの日の行事はオープニング公演、創立記念映像、開式宣言、祝辞、祝電映像、感謝牌伝達、ビジョン宣言、祝賀餅ケーキカット式、祝賀公演、記念撮影、閉会宣言の順で進行された。



HJ モナ龍平のシン・ダルスン代表取締役は創立 50 周年を迎え、100 年の未来に向けた力強い跳躍を固めるため、グローバルリーディングブランドとして生まれ変わるというビジョンを構築し、「HJ モナ龍平」の新しい BI を宣言し、品格ある開発 / 感激のコンテンツ / 破格的な新事業 / 資格のある 100 年企業へと事業の格を高めていくという誓いと共に、▲ハイエンドコンドミニウム開発▲全国チェーン網構築▲海外リゾート開発▲自然観光型コンテンツの拡充▲文化芸術体験観光拡大▲医療観光プラットフォームの構築▲ウェルビーイング食品 PB 商品事業拡大▲ESG 経営強化▲人材育成教育事業の実行を細部戦略で提示した。これを土台に 2033 年以内に売上 1 兆ウォン達成、新事業 50% 突破、分譲売上計 5 兆ウォン、運営売上年平均 15% 成長を達成するという計画を明らかにした。

さらにシン・ダルスン代表取締役は「過去 50 年間の情熱と努力を土台に、胸躍る未来 100 年に向け、役職員たちと力を合わせ、精一杯進んでいく」と抱負を伝えた。







韓国で初めて現代式スキー場をオープンした HJ モナ龍平は、これまで家族中心のレジャー文化を先導し、韓国の健全な余暇文化拡散の先頭に立ってきた。また、冬のソナタ、トッケビなど韓流文化の礎石を築き、2018 平昌冬季オリンピックの成功的な開催を通じて、全世界の人々に韓国の優秀な文化を知らせるきっかけとなった。最近では発王山（バルワンサン）名産化事業を通じた、多様な文化観光コンテンツを開発し、グローバルリゾートに跳躍している。

## 眞の父母様のみ言

龍平創立 50 周年を記念し、100 年に向けて跳躍する、HJ モナ龍平の将来を祝って下さった、内外貴賓の皆様 に深く感謝申し上げます。統一グループと家庭連合は、創造主であられる天の父母様に侍る、中心的使命を果たす、愛天、愛人、愛国を教訓に、家庭連合や企業における、中心的役割を果たしています。現在直面している難問題を解決するにあたって、私たちが一つになって侍るべき方は、宇宙の中心であられる創造主、神様です。創造主 は私たちの天の父母様であられます。

本来、創造主はご自身の形のとおり天地万物を創造され、人間を 1 男 1 女に創造され、人間には成長期間という時間をくださり、完成の場まで出てくることを望んでおられました。しかし、途中で戒めを守ることが出来ず、創造主と関係のない墮落した人類となってしまいました。これが今日の人類です。

天の父母様の願いを叶えて差し上げるためには、人間の中で勝利したという、眞の父母が出てきて、墮落した人類をすべて天の父母様の子女として入籍させ、本然の創造理想を地上に成し遂げていく、地上天国の生活を暮らさなければなりません。

天一国 11 年、天の父母様に侍る聖殿が建設されました。奇跡的なこの日を迎えるまで、理解できない多くの事情がありましたが、天が共にされたからこそ可能でした。特にこの民族は人類の眞の父母を誕生させるために、天が古くから準備してきた選民です。選民としての責任を果たす今日になってこそ、これから永遠の健康な未来が存在するのです。無知には発展がありません。学ばなければなりません。天の父母様が運行されるこの国となり、世界のすべての国を一つにまとめる上で、中心的使命を果たすべき責任が、私たちにあります。

きょうこの江原道、この地域の貴賓たちが先頭に立って、本来の創造理想を実現していく、美しい江原道、美しい京畿道、美しいこの国になることを祈ります。ありがとうございました。



## 祝辞

### 宋龍天 世界平和統一家庭連合世界会長



HJ モナ龍平は真の父母様が選ばれ、精誠を立てられ、直接祝福された場所なので、世界中のどの自然とも比べ物にならない天的価値を持っています。モナパーク、その名前が表すように、ここを訪れるすべての人々が母親の愛の中で幸せになることのできる、プレミアムリゾートになることを心より願っています。

### 金錫炳 統一財団理事長



HJ モナ龍平の設立当時 (1973 年)、国内総生産 (GDP) は 138 億ドルと非常に劣悪な環境でした。それにもかかわらず創業者は未来を予測し、2003 年、文鮮明・韓鶴子総裁ご夫妻はこの場所を買収しました。今日の HJ モナ龍平は、お二人の慧眼と持続的な支援があったため、種を蒔き、去る 50 年以上、国家の繁栄に寄与することができました。

再び新しい 100 年を眺める HJ モナ龍平は、家庭連合の主力事業として未来価値を込めて、世界の人々が訪れることを願う、ヒーリングの空間に発展することを確信しています。

### 沈在国 平昌郡守



HJ モナ龍平は 1975 年に江原道平昌郡大関嶺面にオープンした韓国初のスキー場で、冬季アジア大会や平昌冬季オリンピックなど様々な国際競技を盛況裏に開催した場所です。

HJ モナ龍平は韓国を代表する完璧な四季総合レジャー休養リゾートとして、天恵の自然環境と人的サービスを通じて韓国のランドマークとして発展しています。江原道平昌の発展のために、誠実で勤勉な協同精神で努力してくださったことに心より感謝し、無限なる発展

を祈ります。



### シム・ヒョンジョン 平昌郡議会議長



HJ モナ龍平の創立 50 周年を心よりお祝い申し上げます。HJ モナ龍平がレジャースポーツの中心企業として、地域の発展のために多大な成長を重ねることができた理由は、シン・ダルスン代表を含む役職員全体の努力の賜物です。韓国リゾートの発展はもちろん、江原道平昌の観光産業の発展に大きく貢献してくださった皆様に、深く感謝申し上げます。

### 金鎮台 江原道特別自治道知事



HJ モナ龍平は、韓国でトップを進む先駆者的な面貌を持つリゾートです。HJ モナ龍平は、2018 年の冬季オリンピックはもちろん、冬のソナタ、トッケビなど K ドラマを世界に知らせた韓流ブームが始まった場所として江原道と共にした過去 50 年間、数多くの業績を成し遂げました。HJ モナ龍平という新しい名前と新しいリーダーシップ体制を迎え、第 2 の跳躍が成功することを祈ります。

### 劉相凡 国会議員



平昌の国会議員として HJ モナ龍平に持つ愛情は格別です。HJ モナ龍平は韓国冬季スポーツ史のゆりかごであり、自他共に認める韓国最高の冬季スポーツのメッカです。

1999 年の冬季アジア大会と 2018 年の平昌冬季オリンピックはもちろん、毎年欠かさず開かれるスキー、スノーボードなど数多くの国内大会を成功裏に行い、韓国が世界 10 位圏の冬季スポーツ強国に生まれ変わる土台となりました。そして地元の観光産業はもちろん、地域経済に活力を吹き込みました。江原道民 350 万人の念願を込めて発足した江原特別自治道の飛翔とともに、100 周年まで発展していく HJ モナ龍平になることを願っています。

### 権性東 国会議員



HJ モナ龍平は半世紀の間、韓国を代表するリゾートとして定着してきました。発王山の美しい自然環境と環境に優しい施設、質の高いサービスで国内外の観光客に愛されています。

江原道の代表企業として休養とレジャーを楽しむ空間を越え、雇用創出と地域の経済発展に大きく貢献したのはもちろん、K ドラマ、韓流の発祥地であり、2018 平昌冬季オリンピックの成功的な開催地として世界中から注目を集める場所です。Human And Joy, Mother And Nature 龍平が今後も地域と共に成長と発展を遂げ、100 周年に向けて進むことを期待します。🌈



# 天地人真の父母様招聘 天一国指導者特別集会

真の父母様をお迎えする中、「天地人真の父母様招聘天一国指導者特別集会」が天一国 11 年天暦 3 月 20 日（陽暦 5 月 9 日）に天正宮で文妍娥（ムン・ヨナ）神韓国 UPF 議長、鄭元周（チョン・ウォンジュ）秘書室長、天一国指導者および機関・企業のトップなどが参加して行われた。

この日の特別集会は、韓鶴子天地人真の父母様聖誕 80 周年記念祝勝会以後、全体的な行事を勝利的に終え、天一国の指導者たちが全世界の現場に行く前に、真のお母様をお迎えして新しい出発の決意を固める時間として設けられた。

真のお母様はみ言を通して、真のお父様の天宙聖和以後、天苑宮天一聖殿が奉獻されるまで実体的な国家の復帰、天の父母様が地上で摂理できる環境圏が完成していないことを強調され、明確な方向と「新しい出発」の意志を固めるために家庭連合の人事および組織改編を断行された。今回の組織改編は、天苑宮天一聖殿勝利奉獻の基盤の上で、本格的な神統一韓国と神統一世界を開いていくためのものである。

真のお母様はまず最初に、家庭連合の食口が草創期の心情に戻るためには、何よりも天に対する心情と信仰姿勢を持たなければならないと言われ、天心苑と一つになって神霊と真理で武装しなければならないと説明された。そのために、宋光奐（ソン・グァンソク）家庭連合神韓国協会長を立てられ、家庭連合が実質的かつ内実のある戦略を通じて神統一韓国の基盤を作らなければならないという指針をくださった。また、宋龍天（ソン・ヨンチョン）家庭連合世界会長を立てることで、世界 194 カ国を中心に実体的な基盤を立てて、天の父母様の理想と真の父母様のみ意が成されるよう全力投球しなければならないと強調された。







それだけでなく、真のお母様はUPFに梁昌植(ヤン・チャンシク)世界会長を任命することで、UPF傘下の6つの柱を中心に行われている世界的な活動を強化し、天の父母様と真の父母様の願いである平和理想世界と天の父母様の下の一家庭の理想が実現される足場を整えるようにと言われた。同時に、真のお母様は総裁秘書室を1室と2室として立てて下さることにより総裁秘書室の役割を強化された。第1秘書室には真のご家庭の文妍娥様を、第2秘書室には鄭元周総裁秘書室長を秘書室長として立て、家庭連合傘下の組織全体の体系的な運営報告とともに、近接支援による活性化を成すという目標を固められた。そして最後に真のお母様は、1世、2世、3世の信仰と心情教育のためのグローバル専門研究機関である文和苑には真のご家庭の文薫淑様を任命された。

この日の行事は房昇晩(バン・スンマン)世界本部宣教処長の司会で、開会宣言、花束奉呈(トーマス・ウォルシュUPF世界会長、金鐘瑄(キム・ジョングァン)HJグローバル財団理事長、金宰賢(キム・ジェヒョン)YSP世界副会長、パク・スホンYSP団長)、礼物奉呈(梁昌植神中南米天議苑長、金相錫(キム・サンソク)神中米会長)、報告祈祷、真の父母様のみ言、勝利提議、朝餐会、感想発表、億万歳三唱、閉会宣言の順で行われた。

金起勳(キム・ギフン)神アメリカ天議苑長は報告祈祷で、「天一国特別集会を通じて、もう一度実体聖霊、独り娘、真のお母様を中心とした絶対信仰、絶対愛、絶対服従の心情と信仰で前進し、真のお母様を中心とした神統一韓国の実現を天の父母様の前に必ず奉獻することを誓います。」と切に祈った。その後、文妍娥神韓国UPF議長の勝利提議で朝餐会が始まり、出席者全体を代表して天一国指導者たちの感想発表の時間が設けられた。

マイケル・ジェンキンス神アメリカUPF会長は「今回の行事を通じて、再び私たちは平和の母なしには世界を一つにすることができないと感じました。天の父母様が実体として居られる天苑宮天一聖殿奉獻のために、無限なる愛と精誠の基盤を整えてこられた真のお母様、本当にありがとうございます。」と伝えた。

デミアン・ダンクリー神アジア太平洋1大陸会長は「天苑宮天一聖殿奉獻のために、誰よりも、また夜も眠れずに精誠の基盤を整え今日まで準備してこられた真のお母様に、心を込めて精誠を尽くして歌を捧げます。」と述べ、感想発表を歌に代えた。

マイケル・バルコム神ヨーロッパ大陸会長は「真のお母様は太初に天の父母様が理想とされたことを真の父母様の生涯を通して教育するために天苑宮天一聖殿を建設されました。全世界の人類が天苑宮天一聖殿を訪れることで、今日世界各地で起きているすべての戦争が終息し、天の父母様と真の父母様の実質的なみ旨がこの地上で叶えられることを切に祈りながら前進していきます。」と述べた。

金東宇(キム・ドンウ)中南米大陸会長は「摂理の道を歩みながら、いつも心の中で繰り返している真の父母様のみ言は『死なずに離れずに私について来なさい』という真のお父様のみ言と、『あなたたちが真の父母を愛しているなら見せておくれ』と言われた真のお母様のみ言です。何としても2027年、神統一韓国、神統一世界を作ることができる実体的な基盤をお見せするために、最善を尽くす神南米となれるよう一生懸命努力します。」と誓った。

金相錫(キム・サンソク) 神中米大陸会長は「予想外の豪雨注意報で、肌寒く強風が吹いていたにもかかわらず、天苑宮天一聖殿の奉献式が勝利的に準備され、これまで真のお母様がどれだけ天の父母様のために精誠と苦勞の時間を歩んでこられたかを改めて感じることができました。真のお母様が共にしてくださるすべての日程で、より一層力を出して前進する姿になります。」と明らかにした。

バカリ・カマラアフリカ大陸会長は「真のお母様、ただ真のお母様のビジョンと愛だけがこの世の中すべてを一つにし、天の父母様の理想を成し遂げられるようにすることができます。」と述べた。

方相逸(バン・サンイル) 神日本大陸会長は「昨年、神日本が政治的に厳しい状況に置かれたとき、真のお母様は『あまり心配しないように。妊婦が玉のような赤子を誕生させるために陣痛を経験しているのです。』という言葉を送ってくださいました。神日本は真のお母様のみ言に従って、神統一韓国・神統一世界安着のその日まで、かつての歴史にもなかった最も大きな玉のような赤子の誕生のために最善の努力を尽くし、ひたすら真のお母様に栄光を捧げます。」と誓った。

大塚克己神ヨーロッパ天議苑長は「今回の行事にコソボ首相の参加を準備していたが、家庭連合と日本の厳しい状況から様々考慮される事項がありました。しかし天の父母様と真の父母様の精誠により、無事コソボで首相が参加することができるという恵みがありました。天の父母様が用意してくださった恩恵の中で、天の福を受けて喜んで今回の行事に参加できたことを、真のお母様に心から感謝申し上げます。」と語った。

申東模(シン・ドンモ) 神南米 UPF 会長は、「天苑宮天一聖殿奉献式が行われた日、風を切って天苑宮の建物の前にプラカード 4 枚が垂らされました。天苑宮天一聖殿の完成、天宙天地父母安着完成、死生決断全力投球、神世界安着神天宙開門という文字を通して、私たちは今から再び腰ひもを結び直して進軍せよという真のお母様の切なる思いが込められていると思いました。こうした内容を中心に、神南米は神統一韓国のために全力投球することを誓います。」と述べた。

梁昌植神中南米天議苑長は「今回の行事のために国連平和大学院のフランシスコ・ロハス学長はもちろん、ドミニカ共和国のキリスト教社会党代表が参加する中、真のお母様に捧げた感謝と畏敬の念のこもった感想文で感想に代えたい。」とし、梁昌植天議苑長は「私たち皆が真のお母様に侍ってみ旨が成されるその日まで、疲れたり、落ちて、倒れないよう最善の努力を尽くしてみ旨のために前進しましょう。」と強調した。

全体の行事は金東宴(キム・ドンヨン)YSP 会長と竹内啓晃神日本大陸副会長の音頭による億万歳三唱を最後に終了した。🌀





# HJ クルーズ & マリーナ乗船式

## (天地人真の父母様招請 孝情宴特別午餐会)

HJ クルーズ & マリーナ乗船式が天一国 11 年天暦 3 月 29 日 (陽 5.18)、HJ クルーズ & マリーナで、真のお母様をお迎えし、天一国指導者 70 人余りが参加する中で行われた。

この日の乗船式に先立ち、真のお母様は、HJ マリーナバーカリー & カフェについての特別報告を受け、HJ マリーナのラウンディングを行われた。その後、行事は開会宣言、花束捧呈、孝情文化公演 1、2、3、閉会宣言の順で行われた。

一方、HJ クルーズは正式運航を準備中であり、HJ マリーナ船着場を出発して清平湖付近を往復する 1 時間コースと、南怡島とジャラ島を観覧して戻ってくる往復 3 時間コースで運営される予定だ。

その後、天地人真の父母様招請孝情特別午餐が続いた。同日の特別午餐は、李基誠 (イ・ギソン) 天心苑長の代表祈禱、方相逸 (パン・サンイル) 神日本大陸会長の勝利提議、特別午餐、李成萬 (イ・ソンマン) HJ 花鳥苑委員長の祝辞、孝情の証、孝情文化公演 1、2、閉会宣言の順で行われた。

真のお母様はみ言を通じて「天の父母様に地上で侍り、祝福家庭の責任、少なくとも国家的な基盤が天の父母様の影響圏に入らなければならないということです。天の父母様が思い通りに運行されることのできる環境圏。言い換えれば、この国の 5000 万の民が天の父母様の子女とならなければならないという話です。」と語られ、「真の父母によって祝福された祝福家庭、天一国の民にならなければならないということです。それではどうすればよいですか？一人一人が伝道しなければなりません。伝道しないとイケません。伝道。寝ても覚めても伝道。私たちの目標は国家の復帰。伝道、伝道、伝道です。その道だけが皆さんも生き、国も生きる道です」と祝福してください。

また、真のお母様は「二世、三世を殖し立てることが重要です。創造主、天の父母様の本質、真の父母の使命が何であったのかを教育しなければなりません。そのため、天心苑摂理が重要だと言えます。自分自ら体験しなければなりません」と語られ、今後家庭連合は草創期の心情に戻り、神霊と真理で伝道に努めなければならないと強調された。 



# 宋龍天世界平和統一家庭連合世界会長 世界巡回（神ヨーロッパ）

真のお母様は去る5月9日、組織改編の核心事項として宋龍天（ソン・ヨンチョン）世界平和統一家庭連合世界会長に194ヶ国の世界巡回を土台に、家庭連合が実質的に世界復帰の基盤を築かなければならないというみ言を下された。したがって、今回の宋龍天世界会長の世界巡回は、真のお母様の特別指示による家庭連合の体系的かつ効率的な管理と運営、そして成長を推進するという計画を持っている。

## 第1次：アルバニア

「宋龍天世界平和統一家庭連合世界会長 世界巡回」が天一国11年天曆4月28日から4月29日まで（陽6.16~17）、神ヨーロッパのアルバニアを中心に行われた。

アルバニアのティラナ空港に到着した宋龍天世界会長は、まず最初にマイケル・バルコム会長とミヨラ アルバニア協会長に会い、アルバニアの状況に対する報告を受けた後、アルバニア伝道センターと2019年に真のお母様が下賜して下さった資金とヨーロッパ食口の献金で準備された平和大使館を訪問した。

宋龍天世界会長は平和大使館に位置する精誠室（天心苑）を訪問し、天の父母様と真の父母様に敬拝を捧げた後、「神統一世界への安着に向けて精誠に精誠を投入される真のお母様を中心に、ヨーロッパ全体が心をついに一丸となり、真のお母様が建てられたこの場所で、ヨーロッパの未来を導いていく2世たちを探し立て、教育して、必ずヨーロッパが天の父母様と真の父母様に侍り、正しく立つことを、新しいヨーロッパ、偉大なヨーロッパへと進むことができるように祝福してください！」と懇願した。







平和大使館はアルバニアの首都ティラナの中心部に位置する 7 階建ての建物で、交通施設と十分な駐車スペース、大小の行事が行われる空間として活用されている。

以後、宋龍天世界会長は『平和に寄与する肯定的モデル』という主題で開かれた、平和大使招請行事に参加し「真のお母様は今も、アルバニアのために祈り続けておられ、アルバニアが発展していくことを望んでおられる」と前提した後、「真のお母様の平和活動は、アルバニア UPF を中心に大きな勝利を収め、教育され、アルバニアがバルカン半島を含め、ヨーロッパ全体のモデルにならなければならない」と強調した。

同日の行事は各界の指導者や地域関係者 120 人余りが参加した中で、出席者紹介、マイケル・バルコム会長の歓迎の挨拶、祝賀公演、アルバニア UPF 会長の歓迎の挨拶、宋龍天世界会長の特別メッセージ、祝賀公演、平和講義 - 平和大使任命式の順で行われた。

翌朝、宋龍天世界会長はアルバニアのミュレット修練所を訪問し、真のお母様が望まれる、天一国の未来人材養成に対するみ旨を伝えた。続いてアルフレッド・モイシウ大統領室を訪れ、真のお母様のビジョンを説明する時間を持った。

また、宋龍天会長は YSP 特別集会に参加し、「2 世たちをよく教育するために、立派なリーダーシップを持った 1 世たちの教えがよく相続されなければならない」という真のお母様の命を受けて、共に行った松田幸士 YSP 世界会長を紹介した。以後、2 世圏指導者および青年協会長たちに出会い「神ヨーロッパと神アルバニアは、真の父母様が望まれる神統一世界を建設するために、天一国未来指導者、ひいてはグローバルリーダーを養成すべき責任がある」と伝えた。

一方、アルバニアは最近、経済的基盤を築いたルーマニア (チョン・ボンムン元協会長) をモデルに、シン・ギヨン国家メシヤ会長を中心に、経済自立基盤と伝道環境強化のための方法を導入するために、努力している。



## 第2次：ドイツ

宋龍天世界会長はすぐに神ヨーロッパ指導者総会のために天一国 11 年天曆 5 月 1 日 (陽 6.18)、ドイツへ出発した。ドイツに到着した宋龍天世界会長は、午前早くにキャンベルク修練所を訪問し、聖日礼拝および「第 61 回 真の万物の日」の行事に参加し、天苑宮天一聖殿奉献の摂理的意味と今回の巡回の目的について伝えた。サラ・アミド中東副大陸会長をはじめ、ディター・シュミット中央ヨーロッパ地区長と 2 世圏の協会長および公職者たちは、真のお母様のヨーロッパに向けた切実な心情と激励の教えが、ドイツをはじめとするヨーロッパ全域に広がるように、最善を尽くそうと誓った。

その後、宋龍天世界会長は大塚天議苑長と、マイケル・バルコム大陸会長以下 6 つの地区長との戦略発表の時間を通じて、神ヨーロッパ 71 カ国の内、宣教基盤を持つ 55 カ国 121 教会を中心に、機関公職の現況、食口在籍人数および礼拝参加人数、教会規模を調べる時間を持ち、真のお母様が最近語られたみ言を中心にした短期別政策と運営原則に基づいて神ヨーロッパ家庭連合、UPF、女性連合、YSP の 4 機関がより活発に動くことのできる、経済的自立方案と希望のビジョンについて説明した。

最後にムン・インピョ分苑長を中心とした天心苑祈祷会は、宋龍天会長とヨーロッパ指導者たちと共に、熱い精誠の中で、真のお母様に感謝を捧げ、全体の日程の幕を閉じた。







### 第3次：イギリス

宋龍天 家庭連合世界会長は、ドイツの日程を終えて神ヨーロッパ本部のあるイギリス・ロンドンに移動し、まず最初に UPF 招請平和大使集会を通じて、コロナ禍の中でも中断なき前進でイギリスの UPF 活動をしてきた指導者たちの報告を受けて、参加した平和大使たちと疎通する時間を持った。

その後、YSP 青年指導者特別集会がイギリスの中心指導者が参加した中で開催された。

同日の集会は、マイク・バルコム神ヨーロッパ大陸会長の歓迎の挨拶後、松田幸士 YSP 世界会長の特別報告が行われた。松田幸士 YSP 世界会長は、真のお母様が神ヨーロッパに与えてくださったビジョンと方針、特に若者たちに希望を与えるように語られたみ言を伝えた。

宋龍天家庭連合世界会長は、世界本部と神ヨーロッパが進むべき戦略的方向と短期別目標、運営方針について説明し、その後食口集会と YSP 青年集会を最後に神ヨーロッパの巡回日程を終えた。🌸



# 「天の父母様聖会 第 61 回真の万物の日敬礼式」

「天の父母様聖会第 61 回真の万物の日敬礼式」が天一国 11 年天曆 5 月 1 日（陽曆 6 月 18 日）午前 7 時、真の家庭、天一国指導者、神韓国摂理機関長および団体長、公職者、牧会者、元老、祝福家庭など約 300 人が参加する中で挙行された。

この日の敬礼式は、李基植（イ・ギシク）神韓国副協会長の司会で、真の家庭（文孝進・文妍娥家庭、文興進・文薰淑家庭）による聖燭点火、開会宣言、天一国国歌斉唱、代表者敬礼、家庭の誓い、李基誠（イ・ギソン）天心苑長の報告祈祷、映像上映、ケーキカット、祝歌、金錫珍（キム・ソクジン）天勝教会大教会長のみ言訓読、宋光爽（ソン・グァンソク）協会長のメッセージおよび祈祷、朴魯熙（パク・ノヒ）神統一韓国国民連合元老会会長の億万歳三唱、閉会宣言の順で行われた。敬礼式は、真の家庭と世界 7 大陸を代表した代表者の敬礼に続き、霊・肉界の祝福家庭代表者による敬礼へと続いた。

宋光爽神韓国協会長は記念メッセージで、「この地に多くの宗教指導者がいて、多くの宗教団体があるが、教団の発展を越えて人種や宗教の壁を取り払い、天の父母様の平和理想世界と人類の環境を先に心配し、天文学的な費用と絶ゆまぬ努力で精誠を捧げる人がどこにいらっしゃるのでしょうか。唯一独り娘、真のお母様だけが人類の真の父母であることを、人類のための救世主であることを、もう一度明確に確認することができます。」とし、「真の父母様のこのような生涯と教えが全人類に完全に伝えられるよう、家庭連合全体が実践窮行できるこの時間となることを願う。」と力説した。

どこでもこの日の敬礼式の行事は、参加者全体が真のお母様の崇高な愛と精誠で立てられた摂理の経緯に 120% 同参することを誓い、真のお母様に尊貴と栄光を捧げる時間として厳肅に終わった。🌸





# 天苑宮天勝教会共同堂会長就任式および 世界平和統一家庭連合創立 69 周年記念礼拝

同日午前 10 時、「天苑宮天勝教会共同堂会長就任式および世界平和統一家庭連合創立 69 周年記念礼拝」が、天一国指導者、神韓国摂理機関長および団体長、牧会者、公職者、天勝教会の祝福家庭と食口など約 700 人が参加する中で行われた。

この日の堂会長就任式および記念礼拝は、李基植（イ・ギシク）神韓国副協会長の司会で、開会宣言、敬礼、天一国国家斉唱、家庭の誓い、報告祈祷（梁昌植（ヤン・チャンシク）UPF 世界議長）、ケーキカット（真の家庭）、激励の辞（鄭元周（チョン・ウォンジュ）総裁秘書室第 2 室秘書室長）、祝辞、宋光奭（ソン・グァンソク）神韓国協会長の就任の辞および記念の辞、定年退任者および 33 年、15 年以上長期勤続者功労牌授与式、孝情賛美、出征決意式、億万歳三唱（趙萬雄（チョ・マンウン）元老牧会者会会長）、閉会宣言の順で行われた。

梁昌植 UPF 世界議長は報告祈祷を通して「今日この歴史的な記念日を迎え、天地人真の父母様が天命されたみ旨の前に、父母様と同時代を生きていく選ばれた者としての道理を全うするために、もう一度総決起する統一の勇士たちとならしめてください。」と切に祈った。

黄善祚（ファン・ソンジョ）前協会長は祝辞を通して「真のお母様は天苑宮天一聖殿の勝利奉献後、天の父母様の創造理想である天の父母様の王権がこの地上に実体的に実現されるよう、実質的な天の民を探さなければならないという天命を下された。」とし、「これからは真のお母様が立ててくださった宋光奭協会長を中心に、私たちが実現した幸せを氏族や隣人に伝えながら、天の主権を地の果てまで拡張しよう！」と伝えた。





鄭元周秘書室長は激励の辞を通して「1年前、真のお母様は天一国安着勝利の基台の上に、天の前に勝利奉獻された天苑宮の天運を相続し天勝教会という新しい名前をくださった。お二人（宋龍天（ソン・ヨンチョン）家庭連合世界会長、宋光奭神韓国協会会長）の共同堂会長が、真のお母様のみ意に従って神統一韓国の復歸はもちろん、愛と心情あふれ恩恵ある教会を作っていくことを願う。」と伝え、協会創立 69 周年記念行事を通して天の父母様と真の父母様にもう一度誓い、決意を固める時間をお許しくださった天地人真のお母様に感謝と栄光を捧げた。

宋光奭神韓国協会会長は協会が創立された摂理的理由と過程を明らかにしたあと、「協会創立 69 周年を迎え、ビジョン 2025 国家の復歸の基盤造成と完遂を命じられた真のお母様のその切なる心情を私たち全体が相続し、どんな困難があっても乗り越えていった草創期の心情に戻って、私たちに与えられたこの時代の使命を必ず果たす誇らしい天の父母様の子女になろう。」と訴えた。

この日の功勞牌授与式では、真の父母様に代わって真の家庭の文妍娥（ムン・ヨナ）様と文薰淑（ムン・フンスク）様が定年退任牧会者 10 家庭と 33 年以上の長期勤続牧会者 10 家庭に功勞牌を授与し、宋光奭協会会長は 15 年以上長期勤続牧会者および公職者 12 家庭に功勞牌を授与してその苦勞に感謝を伝えた。

就任式および創立記念行事は参加者全員による「ビジョン 2025 国家の復歸勝利のための決意文」斉唱と趙萬雄元老牧会者会会長の億萬歳三唱で終了した。✚



## 神アメリカ大陸会長 離就任式

神アメリカ大陸会長離就任式が、天一国 11 年天暦 4 月 9 日 ( 陽 5.28)、ニューヨーカーホテルのグランドボールルームで宋龍天家庭連合世界会長、梁昌植 UPF 世界議長、マイケル・ジェンキンス UPF 世界会長、金起勳神アメリカ天心苑長、堀正一神アジア太平洋会長、トーマス・マックデビッド ワシントンタイムズ会長、トーマス・ウォルシュ UTS 総長など家庭連合牧会者および食口等、約 800 人が現場参加し、約 3,000 人の食口達がオンライン生中継で参加する中で行われた。

神アメリカ家庭連合は、離就任式を通じて、去る 2 年 6 ヶ月間、世界政治の中心であり、摂理的に非常に重要な神アメリカ大陸で特有のリーダーシップと行動力を示してくれた龍鄭植 ( ヨン・ジョンシク ) 神アメリカ前任会長に感謝を表明し、デミアン・ダンクリー神アメリカ新任会長の就任を祝った。

同日の行事は、龍鄭植会長とウシロダ・ナオキミ副会長の離任の挨拶、デミアン・ダンクリー会長の就任の挨拶、金起勳神アメリカ 天議苑長の歓迎の挨拶、宋龍天世界平和統一家庭連合世界会長と梁昌植 UPF 世界議長の祝辞、閉会宣言の順で行われた。

特にデミアン・ダンクリー会長は、草創期の教会に戻り、神霊と真理で神アメリカを復興させなければならないという、真の父母様のみ言の伝達に続き、真の父母様の愛のこもった贈り物 (12 着の服) を神アメリカの代表者に贈呈し、真の父母様の期待に応えて、実質的な神アメリカの成果と発展のために努力することを明らかにした。🌸



## 南楊州大教会昇格および 龍鄭植大教会長就任礼拝

眞の父母様は天一国 11 年天曆 3 月 20 日 (2023.5.9)、世界平和統一家庭連合神韓国 5 地区本部、16 の大教区体制から 34 の大教会および教会体制に改編され、これまで世界本部神アメリカ大陸会長として務めていた龍鄭植 (ヨン・ジョンシク) 会長を南楊州大教会の大教会長 (堂会長) に任命された。

南楊州大教会昇格および龍鄭植大教会長就任礼拝が天一国 11 年天曆 4 月 16 日 (陽 6.4)、南楊州大教会にて、鄭元周 (チョン・ウォンジュ) 総裁秘書室第 2 室秘書室長をはじめ、宋龍天 (ソン・ヨンチョン) 世界会長、梁昌植 (ヤン・チャンシク) UPF 世界議長、宋光爽 (ソン・グァンソク) 神韓国協会会長など家庭連合主要指導者と南楊州大教会の食口が大勢参加した中で開催された。

この日の就任礼拝は開会宣言、報告祈祷、賛美、歓迎の挨拶、激励の挨拶、祝辞、経歴報告、花束贈呈、就任の挨拶、祈祷、閉会宣言の順で行われた。

龍鄭植大教会長は就任の挨拶を通じて「眞の父母様を迎え、祖国光復と国家の復帰摂理に最後の生涯を投入し、同参することのできる機会を許諾してくださったことに深く感謝を捧げる。入教 50 年の歳月と宣教 33 年の基盤を土台に、南楊州大教会が天の父母様と眞の父母様の国家の復帰に向けた切実さと、多大な精誠の模範になることが出来るように、誰よりも先頭に立って伝道と復興に全力投球していく。そして、必ず祖国を天の前に奉献したい」と明らかにした。

南楊州大教会の食口たちは「眞の父母様と一つになれば、成し遂げられないことはなく、奇跡が起きる」という眞の父母様のみ言を心の中に刻み、必ず勝利することを決意する時間を持ち、就任礼拝を締めくくった。🌸





# ピースロード 2023 統一大長征

## カナダピースロード 2023

南北統一運動国民連合とUPFなどが連帯する「カナダ・ピースロード 2023 統一大長征」が天一国 11 年天暦 4 月 16 日（陽 6.4）、カナダ・オンタリオ州議事堂でモンティ・マクノートン労働部長官をはじめとする聖職者およびコミュニティリーダー、平和大使など約 200 人が参加する中で開催された。

この日の行事は大陸会長の開会の挨拶を皮切りに、モンティ・マクノートン長官の祝辞、宗教団体代表および平和大使の賛助演説（ジン・ヘンリー キリスト教代表牧師、イマーム・カムル・カーンソン イスラム代表、シュリー・バグバン・シャストリー ヒンドゥー教代表、アル・スミス サイエントロジー教会会長、テレサ・トラルバ・フォン フィリピンフェスティバル創設者、ナダラジャ・ムーディー スリランカ タミル族会長、ヘンリー・リー マレーシア名誉領事および中国文化センター大使）、任命状授与（3 人のコミュニティリーダー）、平和行進、文化公演（コロンビア・スリランカ・フィリピンのコミュニティを代表する歌手）の順で行われた。





## ニューヨーク ピースロード 2023

南北統一運動国民連合とUPFなどが連帯する「ニューヨーク・ピースロード 2023 統一大長征」が天一国 11 年天暦 4 月 8 日（陽 5.27）、米ニューヨーク国連本部ダグ・ハンマルセルド広場で、家庭連合の摂理機関（UPF、WFWP、WCLC、YSP、GPA/HUSA、CARP）の指導者および会員 80 人余りが参加した中で開催された。

同日の行進を通じてルービン・モイズ ニューヨーク平和行進議長は、紛争によって命を失った人々を称え、紛争に対する平和的解決の重要性を悟らせるための記念館の建設を国連に請願するための署名運動を始めた。ルービン・モイズ議長は、「将来、記念館が戦争の被害に遭った地域社会と隣人のために、治癒と和解を促進する場所として設けられるべきだ」と強く主張した。

以後、スティーブンズ世界平和青年学生連合（IAYSP USA）会長と米国聖職者協議会（ACLC）および世界キリスト教聖職者協議会（WCLC）のブルース・グロドナー牧師とモイズ（Moise）司教主管による平和行進が、広場を皮切りに 3 時間にわたり行われ、大学原理研究会（CARP）および青年学生連合会員たちは全体が一丸となり、請願書に署名をもらうための運動を成功裏に終えた。





## オーストリア - ハンガリー - スロバキア - チェコ ピースロード 2023

南北統一運動国民連合とUPFなどが連帯する、「オーストリア - ハンガリー - スロバキア ピースロード 2023 統一大長征」が天・国 11 年天暦 4 月 15 日 ( 陽 6.3 )、ドイツのヤフルンドルフ、ラズカ、チュノボの間の 3 つの国境地点で約 150 人が参加する中で行われた。

同日の行事は、欧州諸国、エリザベス・クック オーストリア家庭連合会会長の歓迎の挨拶、ハイダー オーストリア UPF 会長の開会の挨拶、平和行進、閉会の順で行われた。ピースロードは、真の父母様ご夫妻によって、1981 年にソウルで開かれた世界科学者大会で初めて提唱された。真の父母様は「地球村の平和と繁栄のためには、国境をなくし、道を通じて互いに活発に疎通しなければならない」と語られた。オーストリア - ハンガリー - スロバキア - チェコのピースロード 2023 組織委員会は、真の父母様のみ言を中心に戦争の撤廃、地球村一家族化を成し遂げるためのピースロード 2023 を締めくくり、全体の日程を終えた。

ピースロード組織委員会は 2022 年 7 月 27 日、ドイツのベルリンで「ウクライナを朝鮮半島のように分断国にせず、欧州に新たな壁を築いてはならない」というスローガンを掲げて、ピースロード 9 周年記念ベルリン大会を開催した旨がある。UPF はここから一歩進み、ドイツ統一の気運を朝鮮半島に連結し、朝鮮半島の分断鉄条網を撤去しようという意味で「新平和路」という名誉道路名の制定を、全国的に拡散する運動を展開している。現在は京畿道加平市にのみ「新平和路」が制定されているが、今回の「2023 統一大長征」を契機に新平和路制定運動がさらに拡散していくものと見られる。

宋光奭 ( ソン・グァンソク ) 南北統一運動国民連合会長は「朝鮮半島の統一は、与野党が別になく、いくら南北関係が硬直しても止められない程、参加者の統一への意志がめらめらと燃え上がっている」とし「世界唯一の分断国家である朝鮮半島の統一が、すなわち世界平和の礎であることを全国民はもちろん、国際社会に知らせ、支持と協力を引き出す」と強調した。

南北統一運動国民連合によると、「ピースロード 2023 統一大長征」はすでに今月初めから世界 160 カ国で国別に一斉に行事に突入した。

ピースロード統一大長征は 2013 年に「韓日 3800km 平和の自転車統一大長征」という名で出発して以来、2014 年 14 ケ国、2015 年 120 ケ国、2016 年と 2017 年にはそれぞれ 125 ケ国、2018 年からは 130 ケ国が参加する大会へと拡大された。今年は全世界的に 160 カ国、40 万人が参加し、朝鮮半島統一への熱気を高めていく予定だ。🌀



## (社)愛国志士文潤國先生記念事業会主催 「江原道旌善ハンゴル溪谷 コンテンツ開発のための学術大会」

(社)愛国志士文潤國(ムン・ユングク)先生記念事業会が主催する「旌善ハンゴル溪谷コンテンツ開発のための学術大会」が、天一国11年天曆4月28日(陽曆6月16日)旌善農協大会議室で愛国志士文潤國先生記念事業会のウ・ジョンチュン理事長(江原大名誉教授)をはじめ、イ・ドンソプ大韓赤十字社江原特別自治道支社会長、キム・ギ Chol 道議員、イ・グィイン民族統一江原特別自治道協議会会長、チョン・ヨンロク江原特別自治道里・統長協議会中央会長、チョン・ハクギョ旌善郡山林組合組合長、機関・団体長および住民が参加する中で開催された。

今回の学術大会は、日本統治時代に旌善ハンゴルで26年間洞窟生活をしながら独立運動をした鷗岩(グアム)全相堯(チョン・サンヨ)先生と旌善ノルモクで漢学と漢詩を教えながら後学の養成にあたった錦山(クンサン)文潤國先生の人生を振り返り、彼らの生活の基盤だったハンゴル溪谷の有形無形文化遺産を文化観光コンテンツとして開発するための案を模索する場として設けられた。

1部の開会式に続き、2部の学術セミナーでは3つのテーマが発表された。最初のテーマは春川文化院春川学研究所のホ・ジュング所長が「錦山文潤國先生と鷗岩全相堯先生のハンゴル溪谷での暮らしとその意味」というタ







イトルで発表し、次のテーマはヒョン・スンウク江原大学建築学科教授が「江原道柿葺屋根の家との比較を通して見る文潤國先生余生の地の家屋の価値と復元方向」というタイトルで発表し、最後に松谷大学山林融合科のチャン・ジェヨン教授の「旌善ハンゴル溪谷コンテンツ開発を通じた山林文化ビジネスへの接近」というタイトルの発表で主題発表は終わり、文潤國先生記念事業会のウ・ジョンチュン理事長を座長とする中、旌善文化院付設郷土史研究所のイム・ウンギョ所長と韓国文化遺産研究センターのキム・ジェホン代表、カトリック関東大学山林治癒学科のキム・ソヨン教授が討論者として登場し、各自が3つの主題発表に対する討論を続けた。

ウ・ジョンチュン理事長は「江原道旌善には日本統治時代に独立運動をして後学も教えた鷗岩全相堯先生、錦山文潤國先生、桂山(ケサン)禹鼎模(ウ・ジョンモ)先生が住んでいたのも、ハンゴルは独立運動を通じて愛国精神が宿っているところだ。旌善ハンゴル溪谷で山林文化コンテンツおよび山林福祉インフラを連係させた山林文化ビジネスのモデルを開発すれば、自然資源と歴史的文化的資源を結合した地域のブランド化が可能だ。」とし、「今後今回の学術大会で発表された貴重な内容に基づいて旌善ハンゴル溪谷に具体的かつ実践的な内容が現れるよう持続的な努力を傾けていく。」と明らかにした。🔗





